

ため池データを共有化「ため池デジタルプラットフォーム」

研究のポイント

- 全国のため池の写真、日常点検結果、監視カメラの画像、水位データなど各種データを格納し閲覧できる「ため池デジタルプラットフォーム」(以下、ため池DP)を構築しました。ため池の管理状況を集約・共有することで、ため池の経年変化を把握することができ、地震や豪雨の災害時にため池の被災前の情報を迅速に把握することができます。

研究の背景

- ため池の管理情報の写真や管理状況は自治体ごとに管理されています。そのため、豪雨や地震によってため池が被災した場合、被災前の管理状況や堤体の様子を把握するためには、市町村、都道府県、国とメール等で情報を伝達する必要があり、時間を要することが課題でした。

ため池DPの概要

- 全国約15万箇所のため池が登録されています。
- ため池の写真や日常点検結果、監視カメラの画像、水位計のデータを閲覧する機能の利用は、国や自治体のため池担当者を対象としています。
- ユーザーは、担当地域のため池の写真(図1)や監視カメラの画像、水位計の水位データ(図2)を登録することができます。
- 「ため池管理アプリ」を用いて実施した日常点検結果はため池DPに格納されます。
- 「ため池防災支援システム」と認証連携しており、「ため池防災支援システム」のユーザーアカウントを用いて「ため池DP」にアクセスすることができます。

期待される活用例

- ため池管理アプリを用いた日常点検報告の閲覧によるため池の経年変化の確認
- 監視カメラ、水位計ため池DPに接続することによるため池の遠隔監視
- 災害時における被災ため池の被災前の管理状況、堤体形状の迅速な把握



図1 写真閲覧画面



図2 水位データ閲覧画面

ため池DP操作マニュアル URL https://www.naro.go.jp/laboratory/nire/contents/files/20230406tameike_manual_acces_to_DP.pdf

ため池防災支援システムの研究情報 URL https://www.naro.go.jp/project/society5-sdgs/research_result/seg4/145027.html

ため池管理アプリの研究情報 URL https://www.naro.go.jp/project/results/4th_laboratory/nire/2020/20_060.html